

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	博物館事業		所管課 【2】	文化課(博物館)
			評価者(担当者)	安田志津子
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(1)歴史・文化施設の充実		
		<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【D】維持領域		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市博物館条例 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 10 項 5 目 6 細目 2			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	博物館は、今年で開館22年目となる。これまで来館経験のある方に再度来ていただくためには、企画展内容の充実と催し物や体験学習等における新たな魅力ある事業の取組が必要である。事業に係る調査や資料収集、展示或いは外部者からの学術的・専門的な問い合わせ等に対応できる学芸員の育成を図る必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	市内外からの入館者
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	玉名の歴史・文化の紹介を通して、市民の郷土愛を育み、各地に残る歴史的文化的遺産の継承にも繋げて行く。また、市外の方にも玉名の様々な魅力を知ってもらい、観覧者の増加と利用者の拡大を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】					
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】					
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】					
事務事業の具体的内容 【14】	事務事業を構成する細事業 【15】 ・収蔵品等資料を展示した企画展を開催する。 ・無料スペースによる展示及びコンサート等を開催する。 ・講座、史跡探訪、天体観測等体験型学習会を開催する。 ・市広報紙等による博物館行事の情報発信を行う。 ・外部団体からの依頼に応じて出前講座を開講する。 ⇒ <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>① 企画展事業</td></tr> <tr><td>② 催物事業</td></tr> <tr><td>③ 体験学習事業</td></tr> <tr><td>④ 広報・集客業務</td></tr> <tr><td>⑤ 出前講演講座事業</td></tr> </table>	① 企画展事業	② 催物事業	③ 体験学習事業	④ 広報・集客業務	⑤ 出前講演講座事業
① 企画展事業						
② 催物事業						
③ 体験学習事業						
④ 広報・集客業務						
⑤ 出前講演講座事業						

《事務事業実施に係るコスト》

		H25年度決算	H26年度決算	H27年度決算	H28年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金				
		県支出金				
		起債				
		受益者負担				
		その他				
		一般財源	10,047	10,257	10,149	10,673
	【16】 小計	10,047	10,257	10,149	10,673	0
[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		6,838	7,311	7,073	7,373	
職人 員 の 費	職員人工数	0.25	0.25	0.30	0.30	
	職員の年間平均給与額(千円)	5,424	5,761	5,761	5,761	
	【17】 小計	1,356	1,440	1,728	1,728	
合計		11,403	11,697	11,877	12,401	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画
① 企画展事業	収蔵品や収集又は借用した資料等の展示会を開催する。	展示会開催回数	回	4	4	4	5
② 催物事業	収集及び作品募集した資料等の展示、コンサート等を開催する。	催物開催回数	回	28	20	17	16
③ 体験学習事業	体験学習会等を開催する。	体験学習会開催回数	回	21	26	26	20
④ 広報・集客業務	市広報紙やHPへの掲載等により周知や集客を行う。	市広報・HP掲載回数	回	24	24	24	24
⑤ 出前講演講座事業	依頼団体への出前講座を行う。	出前講演回数	回	4	3	9	5

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H25目標	H26目標	H27目標	H28目標
			H25実績	H26実績	H27実績	
1 博物館来館者数	博物館に入館した延べ人数	人	13,000	13,000	14,000	14,000
			12,418	12,818	17,150	
2						

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】 市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	事業を廃止した場合、来館者が激減し、玉名の歴史・文化の継承が出来なくなる。
	目的の妥当性【21】 税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】 事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】 成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】 成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】 上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】 コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】 民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】 事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】 類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】 受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	魅力ある企画展や催物事業等の開催により入館者数も年々増加傾向にあることから、特に改善等を要せず現状のまま継続するが、今後も博物館に一人でも多くの方が訪れていただけるように、地域や伝統行事にちなんだ展示や事業の充実を図っていく。
昨年からの見直し・改善状況【32】	利用者が博物館に求める展示や催し等を模索するため、随時新しい試みが必要と考え実践している。今年度は秋の学校見学の時期に合わせて、教科書の写真でしか見ることができない道具の今昔を実際見比べることができる企画展等を開催する。

■ 評価責任者記入欄 ■

評価責任者(課長)の所見【33】	館の基本構想、基本理念に即して継続的な活動を続ける必要がある一方、文化振興基本計画や市民アンケート結果を踏まえ、来館者の視点に立った、さらによりよい方向性を検討することも必要である。	評価責任者 竹田宏司
------------------	---	---------------